



JOCカップで1kmジュニア新記録を樹立した野上(その後の大会で再度記録を更新)

JOCジュニアオリンピックカップ	2
UCI ジュニアトラック世界選手権大会	4
第70回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	6
全国高等学校総合体育大会自転車競技	8
UCI パラサイクリング・ロード世界選手権大会	10
第2回夏季ユース・オリンピック競技大会	11
UCI BMX 世界選手権大会	12
リオデジャネイロ・オリンピック参加資格取得について	16
JCFマウンテンバイク日本代表 新ジャージ発表会	16
パラサイクリング・ロード世界選手権、金メダル受賞報告	17
2014年中のUCI規則改訂について/連盟の動き	18
各大会日本代表選手団/UCI会長が本連盟を訪問	19
日本新記録/今後の大会予定	20
2014室内自転車競技別府大会	21
ツール・ド・いくちじま2014	22



KEIRIN 

この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。
<http://ringring-keirin.jp>

無限の夢へ、走りだそう。  競輪の補助事業

RINGRING! プロジェクト

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。
くわしくはウェブで RINGRING! 

JOC ジュニアオリンピックカップ

日本新記録が続出!

KEIRIN 

この大会は競輪の補助金を
受けて開催されました

8月16日～17日、静岡の伊豆ベロドロームでJOC ジュニアオリンピックカップが開催された。

ハイレベルのレースが続き、4つの大会新記録が更新される中、女子ジュニア2km個人パーシュートでは、鈴木奈央（静岡・星稜高）が2分30秒969、男子ジュニア1kmタイムトライアルでは、野上竜太（岡山・鹿屋体育大学）が1分04秒823の日本新記録を樹立した。

最優秀選手に授与される「JOC ジュニアオリンピックカップ」、男子は昨年につづいて野上竜太、女子は鈴木奈央が受賞した。



男子ジュニア3kmIP、1位の安川



予選で日本新記録を樹立した、女子ジュニア2kmIP優勝の鈴木



男子ジュニアケイリン決勝、先頭が1位の澤口



男子ジュニアスプリント決勝、1位の野上(右)と2位の南



女子ジュニア スプリント決勝、1位の伊藤(左)と2位の岸下



女子ジュニア ポイントレース決勝、先頭が1位の橋本



男子ジュニア スクラッチのフィニッシュ



男子U17 ポイントレース、左から2番目が1位の中川

【競技結果】

JOC ジュニアオリンピックカップ
(2014/8/16-17 静岡・伊豆パドドーム)

男子ジュニア スプリント

- 1 野上 竜太 岡山 鹿屋体大
- 2 南 潤 和歌山 和歌山北高
- 3 布居 翼 和歌山 和歌山北高

男子ジュニア 1km タイムトライアル

- 1 野上 竜太 岡山 鹿屋体大 1:04.823
- 2 南 潤 和歌山 和歌山北 1:06.278
- 3 栗本 武典 千葉 敬愛学園 1:07.186

男子ジュニア ケイリン

- 1 澤口 馨太 岩手 紫波総合高
- 2 今野 有樹 愛媛 松山聖陵高
- 3 東 佑紀 福岡 祐誠高

男子ジュニア 3km 個人パシュート

- 1 安川 義道 奈良 榛生昇陽 3:35.509
- 2 安田 開 京都 北桑田高 3:38.841
- 3 清水 覚 東京 八王子桑志 3:38.588

男子ジュニア スクラッチ (10km)

- 1 池西 拓海 埼玉 栄北高
- 2 小野康太郎 東京 パールズ・ミ・ラパ 和
- 3 永橋 湧也 和歌山 和歌山北高

男子ジュニア ポイントレース (25km)

- 1 安田 開 京都 北桑田高 50p
- 2 小野康太郎 東京 パールズ・ミ・ラパ 和 40p
- 3 山下 祥平 愛媛 松山工高 30p

女子ジュニア 500m タイムトライアル

- 1 大久保花梨 福岡 祐誠高 37.348
- 2 鈴木 奈央 静岡 星陵高 37.771
- 3 梶原 悠未 埼玉 筑波大坂戸 38.714

女子ジュニア スプリント

- 1 伊藤 花歩 鳥取 倉吉西高
- 2 岸下 実樹 大阪 トゥールス
- 3 内村風羽香 鹿児島 南大隅高

女子ジュニア 2km 個人パシュート

- 1 鈴木 奈央 静岡 星陵高 2:32.749
- 2 梶原 悠未 埼玉 筑波大坂戸 2:34.315
- 3 橋本 優弥 岐阜 MINOURA 2:38.892

女子ジュニア ポイントレース (15km)

- 1 橋本 優弥 岐阜 MINOURA 20p
- 2 古山 稀絵 東京 昭和第一学園高 19p
- 3 伊藤 真生 宮城 東北高 10p

男子U17 1km タイムトライアル

- 1 山田 諒 岐阜 岐阜第一 1:08.475

男子U17 3km 個人パシュート

- 1 沢田桂太郎 宮城 東北高 3:32.513

男子U17 ポイントレース (15km)

- 1 中川 涼 埼玉 浦和工高 23p

女子U17 500m タイムトライアル

- 1 細谷 夢菜 埼玉 浦和工高 38.680

女子U17 2km 個人パシュート

- 1 細谷 夢菜 埼玉 浦和工高 2:38.619

女子U17 ポイントレース (15km)

- 1 阪本ほのか 奈良 榛生昇陽高

男子U15 1km タイムトライアル

- 1 山内 深太 岐阜 DADDY 1:18.063

男子U15 3km 個人パシュート

- 1 塩崎 隼秀 愛媛 西条南中 4:01.387

女子U15 500m タイムトライアル

- 1 平尾 愛菜 岐阜 MINOURA 46.491

女子U15 2km 個人パシュート

- 1 平尾 愛菜 岐阜 MINOURA 3:03.886

UCI ジュニアトラック世界選手権大会

梶原がポイントレースで銀メダル!



梶原

UCIジュニアトラック世界選手権大会が8月8日～12日の5日間、韓国 GWANG MYEONG 競技場（屋内333m）にて開催された。33カ国から男子137名、女子72名が集い、日本チームは男女7名が参加した。

【短距離種目】

日本チームからは野上竜太（岡山・鹿屋体育大学）、布居翼（和歌山・和歌山北高校）、大久保花梨（福岡・祐誠高校）が男女ともに4種目（チームスプリント・スプリント・ケイリン・タイムトライアル）に出場。野上が1kmタイムトライアルで10位と好走した他は、活躍出来ずに終わった。

敗因の一つとして、ギア比の違いが挙げられよう。昨今のギア使用の流れは、ジュニア世代にも顕著に波及している。布居→49X14,50X14ではまったく勝負にならない。野上→52X14でさえも、もの足りなさを感じた。他国では、4倍（48X12,52X13）近くを使用している選手もいるのが現況である。国内には「ジュニア世代に大ギアを踏ませるべきではない」という指導者が多くいる。他国にも同様の意見を持つ者がいる。

今回ニュージーランドチームのコーチとその点で情報交換をした。彼らは今大会では52X14以下のギアで全レースに出場。結果、中距離種目では計5個のメダルを獲得。それに対して短距離種目ではゼロ。「短距離レース

において小さいギアでは勝負にならない」という結論に達した。この点に関しては、今一度、国内の指導者間で議論を重ねる時期にきている。その上で、方向性を明確に定め取り組むことが大切であろう。

【中距離種目】

松本憲斗（熊本・ルーテル学院高校）中村滝一（福島・平工業高校）、鈴木奈央（静岡・星陵高校）、梶原悠未（埼玉・筑波大学附属坂戸高校）の4名が出場。男子スクラッチレースで中村が6位、女子オムニウムで鈴木が7位、梶原が女子スクラッチレース6位、女子ポイントレース2位と健闘した。彼らは国際大会の経験が薄い選手ばかりである。そのため、昨年大会のレース映像や自分のレース映像を、ビデオで観賞する時間を多く設けた。その後、ディスカッションをし、レース展開のイメージを作り、戦術を明確にした。そのプロセスが好走に結びついたように思われる。そのことが一番良い形となって表れたのが、梶原のポイントレース。中盤、狙い定めたアタックを見事に決め、

コロンビアの選手とのマッチレースに。最終的には2位であったが、堂々の走り。鮮烈な「世界デビュー」であった。競技を始めてまだ1年の彼女だが、自転車競技に対する適性、アスリートとしての意識の高さ、レースでの集中力、レースセンスなど多くの点が秀でている素晴らしい選手である。今回の「敗北」を糧に、さらなる大舞台で活躍することを期待したい。松本に関しては、今回、思うような成績を残せずに終わった。とはいえ、レースを重ねる毎に元気を増す戦いぶりに、非凡さを感じる。彼は普段、一人で練習をしているようである。良い練習環境が整えば、大きな飛躍を遂げるように思う。今後注目したい。

【総評】

大会を通しては、オーストラリア、ロシア、ニュージーランド、ドイツなど、いわゆる強豪国が順当に成績を上げた。ジュニア強化体制の充実ぶりが伺える。それに割って入ったのが、主催国の韓国。4つのメダルを獲得したが、すべてオリンピック種目でのもの。特に、トラックの花形種目である男子スプリントでPARK Jeoneが優勝したことは、大きなインパクトを与えた。ちなみに、彼は、ジュニア1年目である。日本チームはメダル1つを含む、入賞4つという成績であった。近年の日本チームとしては、最高の成績のようである。科学スタッフの村田氏とメカニックの森氏の存在に加え、今回はトレーナーが果たした役割が好影響となったように思われる。若い選手はレース前に不安が増大し、過度に緊張しがちで



中村

ある。その点をトレーナーの奥隅氏が上手にやわらげていた。「ジュニア世代は身体の回復が早いので、トレーナーの帯同は必要ない」という声を耳にする。しかし、心身両面に良い作用を及ぼすことをぜひ考慮に入れてほしい。

「スタッフがうまく機能すれば、選手は力を発揮する」そのことを再認識する機会となった。とはいえ、われわれが関わったのは10日間だけである。今回の選手の活躍は、普段の指導者による賜物である。そして、1年間、チームの指導に力を注いだジュニア部会の功労者に感謝の言葉を述べたい。



梶原

【競技結果】 (日本人参加種目のみ)

UCI ジュニアトラック世界選手権大会 (2014/8/8-12 韓国・ソウル)

男子スプリント

- 1 PARK Jeone KOR
- 2 VIGIER Sebastien FRA

- 3 DEAN Braeden AUS
- 20 野上 竜太 JPN 1/16F 敗退
- 24 布居 翼 JPN 1/16F 敗退

男子1kmタイムトライアル

- 1 JANOSEK Jiri CZE 1:02.558
- 2 NOSOV Alexey RUS 1:04.005
- 3 MODH ZONIS Muhammad MAS 1:04.161
- 10 野上 竜太 JPN 1:05.540
- 23 布居 翼 JPN 1:07.266

男子ケリツ

- 1 GORLOV Sergey RUS
- 2 GIL Benjamin FRA
- 3 RAJKOWSKI Patryk POL
- 25 布居 翼 JPN 1 回戦敗退
- 25 野上 竜太 JPN 1 回戦敗退

男子3km個人パシュート

- 1 OLIVEIRA Ivo Emanuel POR 3:18.905
- 2 GOUGH Regan NZL 3:22.277
- 3 FITTER Daniel AUS 3:21.165
- 31 中村 竜一 JPN 3:35.742

男子スクラッチ

- 1 ROSTOVTSSEV Sergey RUS
- 2 ALBERECHTSEN Mathias DEN
- 3 OLIVEIRA Rui Filipe POR
- 6 中村 滝一 JPN

男子ポイントレース

- 1 GOUGH Regan NZL 42p
- 2 ILICHEV Nikolai RUS 38p
- 3 STEPANYAN Edgar ARM 32p
- 中村 竜一 DNF

男子オムニウム

- 1 PEDERSEN Casper DEN 200p
- 2 WELSFORD Sam AUS 181p
- 3 KIM Jihun KOR 175p
- 14 松本 憲斗 JPN 97p

男子チームスプリント

- 1 ロシア 1:00.338
- 2 韓国 1:00.961
- 3 ホーランド 1:01.562
- 9 日本 松本・布居・野上 1:03.998

女子500mタイムトライアル

- 1 KISELEVA Tatiana RUS 35.470
- 2 FIELD Courtney AUS 35.569
- 3 HINZE Emma GER 35.662
- 21 大久保花梨 JPN 38.721
- 22 梶原 悠未 JPN 39.053

女子スプリント

- 1 FIELD Courtney AUS
- 2 KISELEVA Tatiana RUS
- 3 DEGRENDELE Nicky BEL
- 21 大久保花梨 JPN 1/16F 敗退

女子2km個人パシュート

- 1 MANLY Alexandra AUS 2:24.624
- 2 KLEIN Lisa GER 2:27.877
- 3 PERRY Lauren AUS 2:28.543
- 18 梶原 悠未 JPN 2:40.342

女子ケリツ

- 1 DEGRENDELE Nicky BEL
- 2 FIELD Courtney AUS
- 3 HEINZE Doreen GER
- 17 大久保花梨 JPN 1 回戦敗退

女子スクラッチレース

- 1 DIDERIKSEN Amalie DEN
- 2 LAMBOLEY Soline FRA
- 3 TALBOT Josie AUS
- 6 梶原 悠未 JPN

女子ポイントレース(20km)

- 1 VALBUENA Camila COL 49p
- 2 梶原 悠未 JPN 41p
- 3 TALBOT Josie AUS 22p

女子オムニウム

- 1 STEWART Macey AUS 205p
- 2 ALZINI Martina ITA 205p
- 3 LAMBOLEY Soline FRA 181p
- 7 鈴木 奈央 JPN 127p

女子チームスプリント

- 1 ドイツ 45.468
- 2 ロシア 45.742
- 3 韓国 46.429
- 9 日本 大久保・鈴木 REL

ride on together

その先の感動へ、ともに。





www.pearlizumi.co.jp

文部科学大臣杯 第70回全日本大学対抗選手権自転車競技大会



この大会は競輪の補助金を受けて実施されました

男子総合は鹿屋体育大学が2位に61点差で優勝!

2014年全日本大学対抗選手権自転車競技大会(インカレ)が、8月28日(木)～8月31日(日)の日程で、伊豆ベロドロームと日本CSC5kmサーキットにて開催された。

男子大学対抗総合成績は、トラック部門で2位に32点差をつけた鹿屋体育大学が、ロードレース部門でも大会2連覇となる徳田優を筆頭に表彰台を独占し、インカレ総合2連覇を飾った。総合2位はトラック部門4位から逆転した中央大学、トラック部門2位の日本大学は、ロードレースで10位内に選手を送り込むことが出来ず総合3位に終わった。

女子大学対抗総合成績は、トラック部門で3勝を挙げた日本体育大学が、1999年に女子部門が制定されて以来、初の総合優勝を決めた。総合2位はロードレースで合田裕美子が優勝した早稲田大学、総合3位には昨年まで総合10連覇の鹿屋体育大学が入った。

日本記録に迫る4分10秒347のタイムを出した中央大学の4kmチームパーシュートを筆頭に、好記録が多く出たレベルの高い、記念すべき第70回大会であった。(村田 隆宣)



男子1kmTT、日本新で優勝の野上



男子チームパーシュート優勝の中央大学



TP ウィニングランの中央大学



男子チームスプリント優勝の鹿屋体大



女子3kmIP 優勝の中村



男子4kmIP 優勝の原田



男子タンデムスプリント優勝の朝日大学



男子ケイリン決勝



2位
徳田鍛造

3位 馬渡

1位
徳田 優

男子ロードレース



女子ロードレース優勝の合田

【競技結果】

文部科学大臣杯 第70回全日本大学対抗
選手権自転車競技大会(2014/8/28-31
静岡・日本サイクルスポーツセンター)

男子スプリント

- 1 宮本 隼輔 中央大学
- 2 野上 竜太 鹿屋体育大学
- 3 橋本 瑠偉 明治大学

男子1kmタイムトライアル

- 1 野上 竜太 鹿屋体育大学 1:03.799
- 2 相馬 義宗 朝日大学 1:03.823
- 3 堀 航輝 鹿屋体育大学 1:04.579

男子ケイリン

- 1 奥村 諭志 鹿屋体育大学
- 2 松本 貴治 朝日大学
- 3 奥出 良 北陸大学

男子4km個人バースhoot

- 1 原田 裕成 鹿屋体育大学 4:33.784
- 2 近谷 涼 日本大学 4:39.756
- 3 渡邊翔太郎 朝日大学 4:39.143

男子ポイントレース(40km)

- 1 橋本 英也 鹿屋体育大学 51p
- 2 小林 泰正 日本体育大学 25p
- 3 片桐 善也 日本大学 24p

男子タッグスプリント

- 1 朝日大学 市原・小原
- 2 中央大学 八田・濱田
- 3 順天堂大学 菊地・村上

男子チームスプリント

- 1 鹿屋体大 山口・柴崎・堀 47.747
- 2 日本大学 久保田・安里・坂本 48.093
- 3 中央大学 栗本・宮本・佐伯 48.275

男子チームバースhoot

- 1 中央大学 緑川・黒瀬・高士・原井 4:10.347
- 2 鹿屋体大 橋本_美・橋本_隼・原田・山本 4:11.892
- 3 法政大学 深瀬・寺崎・新村・鈴木 4:15.493

男子ロードレース

- 1 徳田 優 鹿屋体育大学 4:08:24
- 2 徳田 鍛造 鹿屋体育大学 4:09:42
- 3 馬渡 伸弥 鹿屋体育大学 4:09:42
- 4 浦 佑樹 東京大学 4:10:08
- 5 鈴木 快彰 明治大学 4:10:38
- 6 湊 諒 法政大学 4:10:43

女子500mタイムトライアル

- 1 丸田 京 法政大学 37.371
- 2 齋藤 望 日本体育大学 37.937
- 3 中村 妃智 日本体育大学 38.581

女子スプリント

- 1 丸田 京 法政大学
- 2 清水 知美 八戸学院大学
- 3 齋藤 望 日本体育大学

女子3km個人バースhoot

- 1 中村 妃智 日本体育大学 追抜勝
- 2 江藤里佳子 鹿屋体育大学 RJ
- 3 中村 友香 鹿屋体育大学 4:03.063

女子ポイントレース(20km)

- 1 中村 妃智 日本体育大学 32p
- 2 合田祐美子 早稲田大学 7p
- 3 中村 友香 鹿屋体育大学 7p

女子チームスプリント

- 1 日本体育大 中村・齋藤 37.989
- 2 順天堂大学 樋口・神庭 39.095
- 3 中京大学 浅田_聖・浅田_愛 40.263

女子ロードレース

- 1 合田祐美子 早稲田大学 1:54:13
- 2 櫻木 祥子 駒澤大学 1:56:28
- 3 齋藤 望 日本体育大学 1:58:10
- 4 谷 伊央里 日本体育大学 2:00:20
- 5 伊藤 杏菜 中京大学 2:00:25
- 6 中村 友香 鹿屋体育大学 2:04:16

男子総合成績

- 1 鹿屋体育大学 110p
- 2 中央大学 49p
- 3 日本大学 45p

女子総合成績

- 1 日本体育大学 50p
- 2 早稲田大学 23p
- 3 鹿屋体育大学 21p

全国高等学校総合体育大会自転車競技

北桑田高校が総合優勝!

8月6日から8月8日までの3日間、山梨県境川自転車競技場において平成26年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会トラック競技、秩父宮記念杯第65回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会が開催された。

3日間とも好天に恵まれ競技は予定通り実施された。気温の上昇により熱

中症気味の選手が多少出たが無事に終了することができた。

スプリントの太田(小松島西)は前評判どおりの強さを発揮して予選で大会新記録を出し、順当に勝ち上がり優勝した。また、1kmTTは栗本(敬愛学園)、3kmIPは阿部(日出暘谷・日出総合)、4km速度競走は水谷(南大隅)、ポイント・レースは中井(瀬田

工)、ケイリンは千田(内灘)、スクラッチは松岡(千原台)がそれぞれの種目で優勝を飾った。

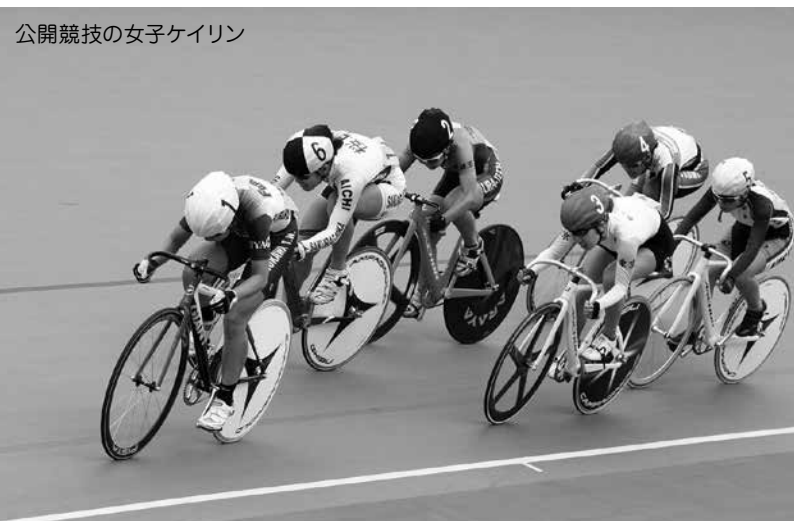
また、チーム・パーシュートでは予選で大会新記録を出した北桑田が決勝でも素晴らしい走りを披露し、大会新記録で優勝した。チーム・スプリントでは予選2位の和歌山北が執念の逆転勝ちを収めた。



スプリント決勝、右が優勝の太田



ケイリン決勝、⑥が優勝の千田



公開競技の女子ケイリン



3km IP 優勝の阿部



スクラッチ決勝、②が優勝の松岡



4km 速度競走決勝、先頭が優勝の水谷



ロードレースの先頭集団

8月9日、山梨県笛吹市周回特設ロードコースにおいて、平成26年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会ロード競技、第59回全国高等学校自転車道路競走中央大会が開催された。

天候に恵まれ午前9時に100.8kmの個人ロードレースが欠場者2名を除いた143名の選手でスタートし、8周回で実施された。序盤から良いペースでレースは進行し、時折アタックが繰り返されるが、なかなか逃げが決まらない。最終周回で先頭集団は5名となり、その後もアタックや牽制が繰り返され、ゴールスプリントで齊藤(前橋工)が優勝した。2位は草塚(北桑田)、3位は橋詰(昭和第一)となった。

学校対抗では、北桑田が34点で総合優勝を飾った。2位は南大隅(25点)、3位は岡山工(24点)となった。

また、女子公開競技4種目が実施された。500mT.Tで平井(祐誠)、ケイリンで佐々木(古川工)、それぞれ

優勝を飾り、スクラッチとポイントレースの2種目を大谷(桜丘)が制した。(井上 正継)



ロードレース フィニッシュ直前、先頭が齊藤

【競技結果】

全国高等学校総合体育大会自転車競技 (2014/8/6-9 山梨・笛吹)

スプリント

- 1 太田 竜馬 徳島 小松島西
- 2 田中 克尚 岡山 岡山工
- 3 佐藤 啓斗 青森 八戸工

1km タイムトライアル

- 1 栗本 武典 千葉 敬愛学園 1:07.306
- 2 坂本 紘規 青森 八戸工 1:07.540
- 3 佐藤 文俊 大分 日出場谷 1:08.220

ケイリン

- 1 千田 拓磨 石川 内灘
- 2 鈴木 玄人 東京 昭和第一学園
- 3 中村 友哉 三重 暁

3km 個人パシージュート

- 1 阿部 将大 大分 日出場谷 3:36.388

- 2 清水 覚 東京 八王子桑志 3:41.841
- 3 安田 開 京都 北桑田 3:35.855

4km 速度競走

- 1 水谷 翔 鹿児島 南大隅 4:47.861
- 2 近藤雄一郎 福島 学法石川
- 3 岡部 祐太 広島 広島城北

スクラッチ (8km)

- 1 松岡 辰泰 熊本 千原台
- 2 池西 拓海 埼玉 栄北
- 3 松本 道郎 福島 白河実業

ポイントレース (24km)

- 1 中井 唯晶 滋賀 瀬田工 12p
- 2 渡部 将太 岡山 岡山工 10p
- 3 山下 祥平 愛媛 松山工 10p

チームスプリント

- 1 和歌北 1:18.718
- 2 暁 1:20.214

- 3 川越工 1:19.117

4km チームパシージュート

- 1 北桑田 4:24.908
- 2 岡山工 4:31.560
- 3 南大隅 4:30.235

ロードレース (100.8km)

- 1 齊藤 瞭汰 群馬 前橋工 2:42:55.7
- 2 草場 啓吾 京都 北桑田 2:42:55.7
- 3 橋詰 丈 東京 昭和第一 2:42:56.3
- 4 成海 大地 沖縄 普天間 2:42:56.6
- 5 中村 圭佑 東京 昭和第一 2:42:57.0
- 6 水谷 翔 鹿児島 南大隅 2:43:46.1

学校対抗総合成績

- 1 北桑田高等学校 34p
- 2 南大隅高等学校 25p
- 3 岡山工業高等学校 24p

UCI パラサイクリング・ロード世界選手権大会

FB クラスで 鹿沼 / 田中ペアが金メダル獲得!



アメリカ・サウルクアライナ州・グリーンビル市で28日より、2014パラサイクリング(障がい者自転車)世界選手権が開催され、大会2日目である29日、女子視覚障害タンデムクラス・ロードタイムトライアルで、鹿沼由里恵(メットライフ生命)・田中まい(日本競輪選手会)のペアが優勝し、金メダルを獲得しました。

この種目はグリーンビル市郊外の周回コース(8.3km)を3周し、ゴールまでのタイムを競い合うもので、1周目はニュージーランドのペアに1秒差の2位で通過するも、その後ペースを徐々に上げた鹿沼・田中ペアは2位に51秒の大差をつけて優勝した。

視覚障害タンデムクラスは、2人乗りのタンデム自転車を用いて、視覚障害の選手が後ろ、健常の選手が前(パイロット)でペアを組み、競技を行う。パイロットをオリンピックのメダリストが務めることがあるなど、世界的にレベルの高い種目だが、今回アジアペアとして初めてのロード種目の金メダルとなった。

●鹿沼由里恵選手のコメント

スタートから慎重にペースを守り、ゴールまで全力で走り切ることができました。パイロットの田中さんと優勝することができて、嬉しさも2倍です。

●田中まい選手のコメント

コーチの方、スタッフの方のサポートのもと、鹿沼さんと力を合わせて最後まであきらめずに全力で走り切ることができました。結果、優勝することができて最高に嬉しいです。

その他、男子機能障害C3クラスで、藤田征樹(日立建機)が8位入賞、女子機能障害C2クラスで藤井美穂(鉄道弘済会)が7位入賞となった。

大会4日目の31日にはロードレースが行われた。

●男子C3ロードレース：藤田征樹 (71.4km：10.2km×7周)

明け方に降った雨により路面がまだ乾いていない状態であったが、朝8時スタートだったこともあり、気温はそれほど上がらず、気候条件は大会期間中で一番穏やかな状態であった。



レースは初めにロシア選手らが飛び出すものの、メイン集団はほとんど動きがなく、レースが進んだ。レース中盤過ぎ(残り3周)にロシア選手がメイン集団に吸収されるとほぼ同時に、ロードタイムトライアルで優勝したアイルランド選手が集団から飛び出し、そのまま逃げ切りゴールした。藤田はメイン集団の中で落ち着いた動きを見せ、最後は集団の好位置をキープしプリントに入り、5位でゴールした。

●女子C2ロードレース：藤井美穂 (51.0km：10.2km×5周)

このレースは女子C1-C3クラス混合でのスタートとなった。徐々に気温が上がり、日射しが強くなる中でのレースであったが、粘り強い走りを見せた。しかしながらレース後半で、同時に行われた男子のロードレースに抜かれる際、後ろから衝突され落車。怪我は打ち身と軽い擦過傷で済んだが、救護車に収容されレースはそこで終了した。周回遅れの完走扱いで7位。

●女子Bロードレース ：鹿沼由里恵・田中まい (81.6km：10.2km×8周)



午後14時のスタートで、強い日射しと気温35℃を超える暑さの中でのレースとなった。集団は1つにまとまったまま終盤までレースが進んだが、ラスト1周手前に、同時に行われた男子Bクラスの集団が近づいたため、男子の集団が抜くまでの半周程度ニュートラルが適用されることとなった。そのため、通常とは大きく異なる展開となったが、その状況でも冷静に判断して動いたイギリスペアが優勝。鹿沼・田中ペアは最後スペインペアを差し切れずに4位でゴールした。

【競技結果】

UCI パラサイクリング・ロード世界選手権大会 (2014/8/28-9/1 アメリカ・ケリントン)

Women's B Time Trial (24.9km)

- 1 鹿沼由里恵・田中まい JPN 34:46.04
- 2 FOY, Emma / FAIRWEATHER, Laura NZL 35:37.18
- 3 TURNHAM, Lora / HALL, Corrine GBR 36:11.22



Men's C3 Time Trial (16.6km)

- 1 CLIFFORD, Eoghan IRL 22:44.61
- 2 USTINOV, Sergey RUS 23:19.49
- 3 ANOBILE, Fabio ITA 23:31.70
- 8 藤田 征樹 日立建機 24:03.51

Women's C2 Time Trial (16.6km)

- 1 JONES, Allison USA 27:53.74
- 2 ACINAS PONCELAS, Raquel ESP 29:01.89
- 3 ZENG, Sini CHN 29:17.91
- 7 藤井 美穂 鉄道弘済会 45:21.33

Women's B Road Race (81.6km)

- 1 TURNHAM, Lora / HALL, Corrine GBR 2:08:28
- 2 DUNLEVY, Katie-George / MCCRYSTAL, Eve IRL 2:08:28
- 3 BENITEZ GUZMAN, Jozefa / MASDEU CORT, Judit ESP 2:08:28
- 4 鹿沼由里恵・田中まい JPN 2:08:28

Men's C3 Road Race (71.4km)

- 1 CLIFFORD, Eoghan IRL 1:47:46
- 2 WARIAS, Steffen GER 1:49:38
- 3 ANOBILE, Fabio ITA 1:49:38
- 5 藤田 征樹 日立建機 1:49:38

Women's C2 Road Race (51.0km)

- 1 JONES, Allison USA 1:36:20
- 2 ACINAS PONCELAS, Raquel ESP 1:38:32
- 3 NORBRUIS, Alyda NED 1:42:55
- 7 藤井 美穂 鉄道弘済会 - 2 laps

第2回夏季ユース・オリンピック競技大会

坂口が個人TT優勝!



名であった。最初に行なわれた Team Event では、第1種目のXCEでは中島が12位、山田が11位となった。第2種目の個人TTでは、坂口が優勝、石上が24位であった。種目別決勝とはいえ、オリンピックの冠がつく大会で日本人選手が1位を獲得したのは日本

の自転車競技史上初のことである。第3種目のBMXでは、中島が13位、石上が18位であった。第4種目のXCOでは坂口が19位、石上が23位であった。最終種目のロードレースでは、坂口が10位、中島が43位、山田が53位、石上はDNFであった。この結果、女子チームの最終成績は総合8位、男子チームの最終成績は24位となった。

次に行なわれた Mixed Team Relay ではチーム全員が一丸となり、最後までメダル争いを繰り広げた。アンカーの坂口は3-6位集団で最終コーナーに進入、うまくインをついて先頭でクリアしたもののゴールスプリントでかわされ4位になり、残念ながらメダル獲得はできなかった。

今大会では女子個人TTで坂口聖香が優勝、Mixed Team Relayで銅メダルを争うなど、ユース五輪・日本代表選手団に与えられたテーマ "The best ever (自分史上最高の○○○

を發揮すること)"は達成できたと思う。最後の最後でメダルを逃したことは、その晩一睡もできなかったほどに悔しい。だが、この年代でメダル争いに絡めたことは、彼らの経験値を著しく高めたに違いない。彼らがもしオリンピックでメダル争いに絡んでも、「あのときの緊張感、あのときのプレッシャー」という引き出しを手に入れたため、きっと落ち着いて向き合えることだろう。これは選手に限らずスタッフにも言えることで、「メダル獲得がいかに困難か」という、4位にしかわからない希少な経験を共有できたことが、何よりの財産である。次回大会はより充実したサポート体制・強化策を構築し、必ずメダルを持ち帰りたい。

(西井 匠)

【競技結果】

第2回夏季ユース・オリンピック競技大会 (2014/8/16-28 中国・南京)

男子 BMX- マウンテンバイクロードチーム

1	Colombia	273p
2	Denmark	257p
3	Netherlands	256p
24	日本 石上 優大・山田 将輝	8p

女子 BMX- マウンテンバイクロードチーム

1	Italy	248p
2	Czech Republic	230p
3	Denmark	225p
8	日本 坂口 聖香・中島 峻歩	124p

混合 BMX- マウンテンバイクロードミックスチーム

1	Czech Republic	17:31
2	Italy	17:31
3	Ukraine	18:00
4	日本 石上・山田・坂口・中島	18:00

第2回ユースオリンピック競技大会(2014/南京)・自転車競技に与えられるメダルは3つで、男子2名(あるいは女子2名)が1チームとなって5種目に出場する Team Event、男女2名ずつが1チームとなって、1人1周のリレー形式で競う Mixed Team Relay である。Team Event は、5種目の合計得点で競われる。つまり、1位100点、2位80点、3位65点...16位(1点)と順位によって獲得できる点数が異なり、合計点の最も高いチームが金メダルを獲得できる。Mixed Team Relay は4人1チームとなってリレーし、アンカーの着順がそのまま順位になる種目である。いずれにしても競技ルールが複雑なので詳細については大会公式ページに譲るが、選手によっては全く専門外の種目にも参加する必要があるなど、独自性を打ち出した内容であった。

日本代表チームの構成は石上優大、坂口聖香、中島峻歩、山田将輝の4

新しい翼で、世界の空へ。



JAPAN AIRLINES

UCI BMX 世界選手権大会

長迫が19位、瀬古が10位



2014 UCI BMX 世界選手権大会が、オランダ・ロッテルダムで7月22日から27日まで開催された。

7月26日にはチャンピオンシップカテゴリー全選手によるタイムトライアルの後、エリート16人、ジュニア8人の上位者によるスーパーファイナルが開催された。優勝者はBMX タイムトライアルの世界王者となる。

日本チーム男子エリートでトップタイムを記録したのは長迫吉拓(岡山/MX インターナショナル)で、16位とのタイム差が0.142秒の23位と、僅差でスーパーファイナル進出を逃した。

女子エリートは山野本悠里が34位、男子ジュニアは池上悠斗が62位、女子ジュニアは瀬古遥加が14位にそれぞれ入った。

最終日はチャンピオンシップカテゴリーのレースが行われ、男子エリートの長迫吉拓が19位、女子ジュニアの瀬古遥加が10位に入った。

初戦を勝ち抜いて決勝トーナメント進出を果たしたのは、男子エリートの長迫吉拓と女子ジュニアの瀬古遥加の2名。1/8 決勝を勝ち抜いた長迫は、準々決勝で5位となり通過ラインの4位には一歩及ばず、総合19位でレースを終えた。瀬古は準決勝で5位となり、決勝進出を逃したものの総合で10位に入った。



長迫



瀬古

【競技結果】

UCI BMX 世界選手権大会
(2014/7/22-27 オランダ・ロッテルダム)

TIME TRIAL Men Elite

1	DAUDET Joris	FRA	24.873
2	FIELDS Connor	USA	24.923
3	WILLOUGHBY Sam	AUS	24.966
23	長迫 吉拓	岡山 MX Int.	25.693
76	吉村樹希敢	大阪	27.001
88	松下 巽	神奈川 早稲田大学院	28.286

TIME TRIAL Women Elite

1	PAJON Mariana	COL	27.285
2	SMULDERS Laura	NED	27.458
3	BUCHANAN Caroline	AUS	27.779
34	山野本悠里	広島	31.668

TIME TRIAL Men Junior

1	KIMMANN Niek	NED	25.585
2	HUDSON Collin	USA	25.815
3	NAVRESTAD Tore	NOR	25.885
62	池上 悠斗	大阪	28.312
74	松村 和真	大阪	43.884
	橋本 蓮	茨城	DNS

TIME TRIAL Women Junior

1	THIBAUT Sandie	FRA	28.523
2	AZUERO GONZALEZ Domanica Michelle	ECU	28.830
3	BONDARENKO Yaroslava	RUS	29.181
14	瀬古 遥加	三重 GroovyFact.	30.550

FINAL Men Elite

1	WILLOUGHBY Sam	AUS
2	NYHAUG Tory	CAN
3	WHYTE Tre	GBR
19	長迫 吉拓	岡山 MX Int.
67	松下 巽	神奈川 早稲田大学大学院
81	吉村樹希敢	大阪

FINAL Women Elite

1	PAJON Mariana	COL
2	POST Alise	USA
3	SMULDERS Laura	NED
34	山野本悠里	広島

FINAL Men Junior

1	KIMMANN Niek	NED	
2	GAIAN Sean	USA	
3	RACINE Romain	FRA	
67	池上 悠斗	大阪	
70	松村 和真	大阪	
	橋本 蓮	茨城	DNS

FINAL Women Junior

1	AZUERO GONZALEZ Domanica Michelle	ECU
2	RENO Shealen	USA
3	KAPITANOVA Tatiana	RUS
10	瀬古 遥加	三重 Groovy Factory



競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

ジャパンシリーズトライアル #1 山梨大会 (2014/6/8 山梨・アルプス・クワンタイルパーク)

Elite 20

1	寺井 一希	埼玉 チームハリケーン	21p
2	柴田 泰嵩	愛知 GOLDRUSH	30p
3	甘利 大斗	長野 トライアルチーム輪道	60p

Elite 26

1	飯塚 隆太	東京 GOLDRUSH	26p
2	西窪 友海	和歌山 GOLDRUSH	52p
3	寺曾 秀明	広島 Team TERASO	67p

Junior

1	坪井 大地	宮城 GOLDRUSH	23p
2	橋本 茂樹	福岡 SUGOSUNE	58p
3	川田 蓮	静岡	75p

Women

1	胡中 理沙	大阪	9p
2	水野 真美	大阪 関西大学	10p
3	安藤 七星	東京 わくわく BTR	16p

Masters

1	稗田 晃史	大阪 moc	15p
2	小浦 龍文	静岡	34p
3	大塚 達也	静岡 チーム Y 工房	34p

Jシリーズ J1XC0/DHI 雫石 STAGE (2014/6/13-15 岩手・雫石峠-場)

クロスカントリー 男子エリート (14.5km)

1	斉藤 亮	長野 BS A	1:15:53.54
2	小野寺 健	北海道 MIYATA	1:17:41.62
3	門田 基志	愛媛 GIANT	1:17:58.01

クロスカントリー 女子エリート (8.7km)

1	中込由香里	長野 SY-Nak	1:00:06.41
2	小林可奈子	長野 Azumino	1:02:21.58
3	中島 峻歩	山梨 SY-Nak	1:06:10.53

クロスカントリー 男子ジュニア (8.4 km)

1	松本 一成	長野 Mashun	50:29.69
2	村上 圭祐	秋田 ダイジジョブ	1:01:31.64

クロスカントリー 女子ジュニア (8.4 km)

1	小林あかり	長野 AZUMINO	46:30.07
---	-------	------------	----------

タウンヒル 男子エリート

1	阿藤 寛	大阪 Commencal	3:34.758
2	大島 礼治	兵庫 RAGE69	3:47.744
3	安達 靖	愛知 Dirtfreak	3:51.741

タウンヒル 女子エリート

1	末政 実緒	兵庫 Dirtfreak	4:30.251
2	中川 弘佳	大阪 Lovespo	5:49.698
3	九島あかね	神奈川 玄武	6:22.119

タウンヒル 男子ジュニア

1	秋元 拓海	福島	5:29.986
---	-------	----	----------

第48回 JBCF 西日本ロードクラシック広島大会 (2014/6/21-22 広島・森林公園)

P1 クラス (147.6km)

1	畑中 勇介	シムルレーシング	3:45:21
2	鈴木 真理	宇都宮ブリッツェン	3:45:21
3	入部正太郎	シムルレーシング	3:45:24
4	増田 成幸	宇都宮ブリッツェン	3:45:27

5	鈴木 譲	宇都宮ブリッツェン	3:45:51
6	佐野 淳哉	那須ブレイゼン	3:45:52

F クラス (36.9km)

1	Patterson Jill Team	ASAHI	1:06:16
2	吉川 美穂	Team ASAHI	1:07:54
3	星川恵利奈	Team ASAHI	1:07:56

Y クラス (49.2km)

1	日野 竜嘉	松山聖陵高校	1:19:51
2	大町 健斗	チームサイクルプラス	1:20:29
3	藤田 拓海	横浜高校	1:21:11

寛仁親王記念ロードクラシック国際自転車競技大会 (2014/7/4-6 静岡・伊豆ハートロード)

Men Elite Sprint

1	SOGA Keisuke	明治大学
2	HASHIMOTO Ryosuke	和歌山車連
3	SAKAI You	日本大学

Men Elite 1km TT

1	INAGAKI Hiroyuki	Cyclo Channel
2	HASHIMOTO Ryosuke	和歌山車連

Men Elite Individual Pursuit

1	WADA Chikara	和歌山車連
2	MORIGUCHI Hiroki	和歌山車連
3	MASAGO Eisaku	明治大学

Men Elite Omnium

1	KUBOKI Kazushige	和歌山車連
2	OKAMOTO Hayato	和歌山車連
3	CHOY Hiu Fung	Hong Kong China

Women Elite 500m TT

1	CAMERON Claire	Glotman Simson
2	KANBA Mutsumi	順天堂大学
3	PHONCHAISAENG Suthima	Thailand

Women Elite Individual Pursuit

1	CAMERON Claire	Glotman Simson
2	GERTH Jennifer	Mighty Cycling
3	SUNOHARA Miki	順天堂大学

Women Elite Omnium

1	CAMERON Claire	Glotman Simson
2	ETO Rikako	鹿屋体育大学
3	KANBA Mutsumi	順天堂大学

Men Junior Sprint

1	MINAMI Jun	和歌山車連
2	NUNOI Tsubasa	和歌山車連
3	MITCHELMORE Maximilian Gil	Hong Kong China

Men Junior 1km TT

1	MINAMI Jun	和歌山車連
2	NUNOI Tsubasa	和歌山車連
3	MITCHELMORE Maximilian Gil	Hong Kong China

Men Junior Individual Pursuit

1	MITCHELMORE Maximilian Gil	Hong Kong China
2	YASUDA Kai	北桑田高校
3	MANO Yuttana	Thailand

Men Team Sprint

1	明治大学	ME
2	鹿屋体育大学	ME
3	和歌山車連	MJ

Men Team Pursuit

1	和歌山車連	ME
2	中央大学	ME
3	北桑田高校	MJ

第55回全日本学生選手権トラック自転車競技大会 (2014/7/5-6 静岡・伊豆ハートロード)

男子スプリント

1	橋本 瑠偉	明治大学
2	松本 貴治	朝日大学
3	後藤 悠	早稲田大学

男子1kmタイムトライアル

1	堀 航輝	鹿屋体育大学	1:05.093
2	寺崎 浩平	法政大学	1:05.712
3	佐伯 亮輔	中央大学	1:06.095

男子4km個人ハーフシュート

1	近谷 涼	日本大学	4:32.457
2	渡邊翔太郎	朝日大学	4:34.316
3	高士 拓也	中央大学	4:38.825

男子スクラッチ (15km)

1	浦田 真成	朝日大学	18:52.60
2	神開 一輝	中央大学	
3	河内 一晟	日本体育大学	

男子ケリッソ

1	奥村 諭志	鹿屋体育大学
2	宮本 隼輔	中央大学
3	安本 昇平	鹿屋体育大学

男子ポイントレース (40km)

1	小林 泰正	日本体育大学	34p
2	片桐 善也	日本大学	24p
3	佐々木勇輔	早稲田大学	22p

男子タイムスプリント

1	鹿屋体育大	山口 大貴・安本 昇平
2	朝日大学A	市原 和希・小原 佑太
3	朝日大学B	中野 雄喜・有山 誠昌

男子タイムトライアル (30km)

1	法政大学	寺崎・新村	(+1)24p
2	日本大学A	佐々木・片桐	12p
3	明治大学B	眞砂・河津	(-1)3p

女子500mタイムトライアル

1	齋藤 望	日本体育大学	38.320
2	丸田 京	法政大学	38.328
3	中村 妃智	日本体育大学	38.619

女子スプリント

1	齋藤 望	日本体育大学
2	丸田 京	法政大学
3	樋口 晴香	順天堂大学

女子3km個人ハーフシュート

1	中村 妃智	日本体育大学	追抜勝
2	江藤里佳子	鹿屋体育大学	
3	合田祐美子	早稲田大学	4:03.962

女子ポイントレース

1	中村 妃智	日本体育大学	20p
2	齋藤 望	日本体育大学	14p
3	神庭 睦実	順天堂大学	10p

第48回 JBCF 東日本ロードクラシック修善寺大会 (2014/7/6 静岡・日本サイクルスポーツセンター)

P1 クラス (120km)

1	鈴木 譲	宇都宮ブリッツェン	3:33:21
2	土井 雪広	TeamUKYO	3:33:22
3	入部正太郎	シムルレーシング	3:33:24
4	Visente JOSE	TeamUKYO	3:33:29
5	増田 成幸	宇都宮ブリッツェン	3:33:30
6	DESRIAC Loic	TeamJBCF	3:33:33

F クラス (30km)

1	金子 広美	イメ信濃山形	1:00:42
2	西 加南子	LUMINARIA	1:04:00
3	智野 真央	NEILPRYDE	1:04:00

第5回世界大学選手権大会
(2014/7/9-13 ホﾞランド)

Road Time Trial Men (23km)

1	VAKOC Petr	CZE	33:30.98
2	GEBAUER Tim	GER	33:37.76
3	KUREK Adrian	POL	33:45.02
9	徳田 優	京都 鹿屋体大	35:41.23
16	山本 大喜 奈良	鹿屋体大	36:35.32

Road Time Trial Women (23km)

1	KLEKOT Martyna	POL	38:18.98
2	HAMMES Kathrin	GER	38:43.63
3	BRZEZNA Monika	POL	38:56.87
9	合田祐美子	岡山 早稲田大	40:43.71
18	伊藤 杏菜 愛知	中京大学	42:44.27

Road Race Men (94km)

1	VAKOC Petr	CZE	2:30:33
2	GEBAUER Tim	GER	2:31:43
3	PIASKOWY Emanuel	POL	2:31:43
13	徳田 優	京都 鹿屋体育大	2:35:47
21	徳田 鍛造	鹿児島 鹿屋体育大	2:41:08
36	山本 大喜 奈良	鹿屋体育大	3:08:13
	阿曾 圭佑	三重 中京大学	DNF

Road Race Women (66km)

1	HAMMES Kathrin	GER	1:59:59
2	SOLUS-MISKOWICZ Katarzyna	POL	2:00:54
3	KLEKOT Martyna	POL	2:02:47
7	合田祐美子	岡山 早稲田大学	2:03:25
10	檜木 祥子	東京 駒澤大学	2:05:39
13	伊藤 杏菜 愛知	中京大学	2:11:25
23	江藤里佳子	大分 鹿屋体育大	2:18:51

XCO Time Trial Men (4km)

1	KONWA Marek	POL	11:56.40
2	NESVADBA Jan	CZE	12:04.92
3	BARBEN Emilien	SUI	12:16.33
13	前田 公平	東京 法政大学	13:52.44
14	中原 義貴	大阪 関西外語大	13:57.13

XCO Time Trial Women (4km)

1	SOLUS-MISKOWICZ Katarzyna	POL	15:08.81
2	BENKÓ Barbara	HUN	15:31.46
3	GROCCIA Marine	SUI	15:58.75
13	相野田静香	長野 松本大学	19:10.43
14	荻真 賢美	岡山 川崎医福大	20:14.73

XCO Men (26km)

1	BARBEN Emilien	SUI	1:23:05.99
2	KONWA Marek	POL	1:23:50.34
3	NESVADBA Jan	CZE	1:24:23.49
12	中原 義貴	大阪 関西外語大	1:36:40.19
14	前田 公平	東京 法政大学	1:38:12.46

XCO Women (18km)

1	SOLUS-MISKOWICZ Katarzyna	POL	1:09:45.04
2	BENKÓ Barbara	HUN	1:12:05.38
3	GROCCIA Marine	SUI	1:14:21.33
12	相野田静香	長野 松本大学	1:28:38.43
15	荻真 賢美	岡山 川崎医福大	-1 lap

全日本学生 RCS 第4戦大町美麻ロードレース
(2014/7/13 長野・美麻)

クラス1+2 (163.8km)

1	湊 諒	青森 法政大学	4:21:32
2	秋田 拓磨	福井 朝日大学	4:21:32
3	片桐 善也	新潟 日本大学	4:21:32
4	鈴木 龍	東京 SEKIYA	4:21:32
5	武井 亨介	茨城 Singha Infinite	4:21:32
6	岡 泰誠	茨城 筑波大学	4:21:32

第13回 JBCF 石川サウクルロードレース
(2014/7/20 福島・石川)

P1 クラス (115.8km)

1	Visente JOSE Team	UKYO	2:58:00
2	DESRIAC Loic Team	JBCF	2:58:34
3	増田 成幸	宇都宮ブリツェン	2:58:47
4	土井 雪広	Team UKYO	2:58:49
5	佐野 淳哉	那須ブレーセン	2:58:50
6	武末 真和	ロイヤルレーシングチーム	2:58:50

F クラス (40.8km)

1	西 加南子	LUMINARIA	1:16:06
2	針谷千紗子	Live GARDEN	1:16:06
3	智野 真央	NEILPRYDE	1:16:06

Y/ジュニア男子 (13.6km)

1	渡辺 将太	白河実業高校	1:41:34
2	近藤雄一郎	学法石川高校	1:41:34
3	小野康太郎	パールのズミ・ラパ和	1:41:34

ジャパンシリーズ トライアル #2 岐阜大会

(2014/7/20 岐阜・岐阜県百年公園)

ELITE 20 Super Final

1	寺井 一希	埼玉 チームリケン	22p
2	柴田 泰嵩	愛知 GOLDRUSH	60p
3	甘利 大斗	長野 トライアルチーム輪道	70p

ELITE 26 Super Final

1	飯塚 隆太	東京 GOLDRUSH	46p
2	寺曾 秀明	広島 Team TERASO	75p
3	小松 龍一	神奈川 HWC	75p

Junior

1	坪井 大地	宮城 GOLDRUSH	36p
2	橋本 茂樹	福岡 SUGOSUNE	49p

Women

1	小川 菜花	長崎 ZIP_RACING	43p
2	山本 琴恵	東京 GT	54p
3	水野 真美	大阪 関西大学	55p

Masters

1	飛里 充思	愛知	5p
2	稗田 晃史	大阪 moc	35p
3	鷲見 芳紀	愛知 moc	35p

第46回ツール・ド・カター・アモス
(2014/7/21-27 カター・アモス)

個人総合成績

1	BOUHANNI Rayane	FRA	13:08:47
2	MOSTOV Zeke	USA	13:09:06
3	NORSGAARD Jorgensen	DEN	13:09:10
20	孫崎 大樹	京都 北桑田高	13:09:57
28	松本 祐典	京都 明治大学	13:10:23
45	小山 貴大	群馬 前橋育英	13:11:08
48	草場 啓吾	京都 北桑田高	13:11:26
86	水谷 翔	鹿児島 南大隅高	13:20:04
116	富尾 大地	鹿児島 南大隅高	13:54:18

団体総合成績

1	アメリカ	39:27:24
2	デンマーク	39:28:01
3	カナダ	39:28:22
8	日本	39:31:08

Stage1 (115.9km)

1	Rayane Bouhanni	FRA	2:31:45
2	Bak Klaris Magnus	DEN	2:31:45
3	Danes Leo	FRA	2:32:00
13	孫崎 大樹	京都 北桑田高校	2:32:02
18	草場 啓吾	京都 北桑田高校	2:32:02
39	松本 祐典	京都 明治大学	2:32:02
59	小山 貴大	群馬 前橋育英高	2:32:02
117	水谷 翔	鹿児島 南大隅高校	2:40:26
122	富尾 大地	鹿児島 南大隅高校	2:42:17

Stage2 (115.2km)

1	Norsgaard Jorgensen	DEN	2:32:20
2	Barta William	USA	2:32:20
3	Havot Sebastien	FRA	2:32:20
6	小山 貴大	群馬 前橋育英高	2:32:24
15	松本 祐典	京都 明治大学	2:32:40
16	草場 啓吾	京都 北桑田高校	2:32:40
88	孫崎 大樹	京都 北桑田高校	2:32:40
104	水谷 翔	鹿児島 南大隅高校	2:32:40
129	富尾 大地	鹿児島 南大隅高校	2:36:22

Stage3 (10km タイムトライアル)

1	COSTA Adrien	USA	12:14
2	Barta William	USA	12:29
3	MOSTOV Zeke	USA	12:30
18	草場 啓吾	京都 北桑田高校	13:15
32	孫崎 大樹	京都 北桑田高校	13:29
42	小山 貴大	群馬 前橋育英高	13:42
47	松本 祐典	京都 明治大学	13:45
59	水谷 翔	鹿児島 南大隅高校	13:54
67	富尾 大地	鹿児島 南大隅高校	13:59

Stage4 (51.5km)

1	TOUZE Damien	FRA	1:07:16
2	CANAVERAL Vargas Joh	COL	1:07:16
3	CARPENTIER Adrien	FRA	1:07:16
8	草場 啓吾	京都 北桑田高校	1:07:16
11	松本 祐典	京都 明治大学	1:07:16
19	孫崎 大樹	京都 北桑田高校	1:07:16
55	小山 貴大	群馬 前橋育英高	1:07:16
104	水谷 翔	鹿児島 南大隅高校	1:07:16
129	富尾 大地	鹿児島 南大隅高校	1:08:30

Stage5 (111.6km)

1	VALOGNES Quentin	FRA	2:25:47
2	GOGUEN Peter	USA	2:25:47
3	CARPENTIER Adrien	FRA	2:25:47
12	松本 祐典	京都 明治大学	2:25:47
66	孫崎 大樹	京都 北桑田高校	2:25:47
78	小山 貴大	群馬 前橋育英高	2:26:51
81	水谷 翔	鹿児島 南大隅高校	2:26:55
89	草場 啓吾	京都 北桑田高校	2:27:20
118	富尾 大地	鹿児島 南大隅高校	2:29:23

Stage6 (96.7km)

1	VALOGNES Quentin	FRA	2:08:56
2	BOUHANNI Rayane	FRA	2:08:56
3	NORSGAARD Jorgensen	DEN	2:08:56
4	孫崎 大樹	京都 北桑田高校	2:08:56
5	松本 祐典	京都 明治大学	2:08:56
33	草場 啓吾	京都 北桑田高校	2:08:56
86	小山 貴大	群馬 前橋育英高	2:08:56

- 91 水谷 翔 鹿児島 南大隅高校 2:08:56
- 126 雷尾 大地 鹿児島 南大隅高校 2:28:51

Stage7 (98.3km)

- 1 孫崎 大樹 京都 北桑田高校 2:09:57
- 2 AMINE GALDOUNE Ahmed MAR 2:09:57
- 3 CANAVERAL VARGAS Joh COL 2:09:57
- 4 松本 祐典 京都 明治大学 2:09:57
- 55 水谷 翔 鹿児島 南大隅高校 2:09:57
- 106 小山 貴大 群馬 前橋育英高 2:09:57
- 111 草場 啓吾 京都 北桑田高校 2:09:57
- 122 雷尾 大地 鹿児島 南大隅高校 2:14:56

**パラサイクリング・ロード・ワールドカップ第2戦
(2014/7/25-27 スパイン・セゴビア)**

Women Elite Tandem B - Time Trial (22km)

- 1 GBR Corinne HALL/Lora TURNHAM 29:12.60
- 2 JPN 田中 まい / 鹿沼由理恵 29:25.32
- 3 POL Aleksandra WNUCZEK/Iwona PODKOSCIELNA 30:25.44

Women Elite C2 - Time Trial (11km)

- 1 Raquel ACINAS PONCELAS ESP 17:34.34
- 2 Allison JONES USA 17:40.13
- 3 Yvonne MARZINKEGER 18:54.43
- 8 藤井 美穂 東京 鉄道弘済会 28:53.98

Men Elite C3 - Time Trial (22km)

- 1 Sergey USTINOV RUS 30:08.76
- 2 David NICHOLAS AUS 30:16.63
- 3 藤田 征樹 茨城 日立建機 30:34.58

Women Elite Tandem B - Road Race (84km)

- 1 GBR Corinne HALL/Lora TURNHAM 2:15:48
- 2 POL Aleksandra WNUCZEK/Iwona PODKOSCIELNA 2:16:50
- 3 ESP Judith MASDEU CORT/Josela BENITEZ GUZMAN 2:17:06
- 7 日本 田中まい / 鹿沼由理恵 2:19:27

Women Elite C2 - Road Race (64km)

- 1 Allison JONES USA 1:54:49
- 2 Raquel ACINAS PONCELAS ESP -1lap
- 3 Yvonne MARZINKEGER -1lap
- 7 藤井 美穂 東京 鉄道弘済会 -3laps

Men Elite C3 - Road Race (64km)

- 1 Fabio ANOBILE ITA 1:42:46
- 2 Steffen WARIAS GER 1:42:46
- 3 Diedrick SCHELFHOUT BEL 1:42:46
- 21 藤田 征樹 茨城 日立建機 1:43:17

**お台場サイクルフェスティバル湾岸クリテリウム
(2014/7/26-27 東京・江東区・青海)**

7/26 学連クラス

- 1 早坂 貴大 山梨 山梨学院大学 35:07
- 2 小林 和希 福岡 明治大学 35:07
- 3 金井 誠人 東京 明治大学 35:07
- 4 佐々木勇輔 埼玉 早稲田大学 35:07
- 5 高木三千成 埼玉 立教大学 35:10
- 6 菊地 啓汰 岩手 順天堂大学 35:20

7/27 実業団 P1 クラス (34.8km)

- 1 阿部 嵩之 宇都宮ブリッツェン 49:31
- 2 末永 周平 CROPS 49:31
- 3 和田 力 マトリックスパワーテック 49:32
- 4 雨澤 毅明 那須ブラーゼン 49:38
- 5 鈴木 譲 宇都宮ブリッツェン 50:42
- 6 鈴木 真理 宇都宮ブリッツェン 50:42

7/27 実業団 F クラス (14.5km)

- 1 上野みなみ JBCF J-Feminin 23:34
- 2 塚越さくら JBCF J-Feminin 24:21

- 3 智野 真央 NEILPRYDE-MENS 24:44

**2014JBMXF シリズ第3戦
(2014/8/10 新潟・上越)**

男子エリート

- 1 松下 巽 早稲田大学
- 2 吉村樹希敢
- 3 三瓶 将廣 SYSTEMATIC BMX

**第45回 JBCF 東日本トラック
(2014/8/10 福島・泉崎国際サイクルスタジアム)**

男子 1km タイムトライアル

- 1 小峰 烈 B-SOUL 1:07.124
- 2 湯浅 大輔 チーム・チェフロ 1:07.984
- 3 河上 陽一 チーム・チェフロ 1:08.857

男子個人パシビュー

- 1 ソーレン・ホル イーメ濃山形 4:58.448
- 2 林 航平 Tokyo Ventos 5:08.314
- 3 柳澤 正 Logisty Jack 5:07.950

男子チームスプリント

- 1 チーム・チェフロ 河上・湯浅・高橋 1:06.423
- 2 湘南愛輪会 亀山・丸田・奥津 1:09.917
- 3 Tokyo Ventos小清水・林・柳沼 1:10.010

男子チームパシビュー

- 1 イーメ 中村・武田・血屋・ソーレン・ホル 4:41.814

女子 500m タイムトライアル

- 1 和地 恵美 SUPER-K 40.005

女子 3km 個人パシビュー

- 1 和地 恵美 SUPER-K 4:22.944

男子ジュニア 3km 個人パシビュー

- 1 清水 大地 SUPER-K 4:14.814

**2014JBMXF シリズ第4戦
(2014/8/24 埼玉・滝沢サイクルパーク)**

男子エリート

- 1 松下 巽 早稲田大学大学院
- 2 三瓶 将廣 SYSTEMATIC BMX
- 3 池上 悠斗 RingoRoad

**全国都道府県対抗自転車競技大会
(2014/8/24-26 和歌山)**

男子個人ロードレース (94.8km)

- 1 窪木 一茂 和歌山 県教育庁 2:45:32
- 2 白石 真悟 山口 シノ 2:45:33
- 3 山下 貴宏 兵庫 シェル・奈良 2:45:34
- 4 安原 大貴 大阪 チームマトリックス 2:45:35
- 5 小山 貴大 群馬 前橋育英高 2:45:37
- 6 大場政登志 茨城 C Project 2:45:43

女子個人ロードレース (47.4km)

- 1 上野みなみ 青森 鹿屋体育大 1:33:33
- 2 金子 広美 三重 1:33:34
- 3 崎本 智子 愛媛 1:34:28
- 4 塚越さくら 鹿児島 鹿屋体育大 1:38:31
- 5 三浦 涼香 愛知 桜花学園高 1:38:32
- 6 古山 稀絵 東京 昭和第一学 1:38:32

男子スプリント

- 1 太田 竜馬 徳島 小松島西高
- 2 一丸 尚伍 大分
- 3 橋本 凌甫 和歌山 和歌山県教育庁

成年男子 1km タイムトライアル

- 1 佐々木 龍 長崎 鹿町工高職 1:07.873

- 2 血屋 豊 三重 伊勢市役所 1:07.945
- 3 碓 優太 福井 科学技高教 1:08.161

少年男子 1km タイムトライアル

- 1 栗本 武典 千葉 敬愛学園 1:07.615
- 2 布居 翼 和歌山 和歌山北 1:08.087
- 3 佐藤 文俊 大分 日出陽谷 1:08.241

成年男子ケリフ

- 1 佐野 伸弥 岐阜 NOSAI 岐阜中央
- 2 松本 諒太 三重 三重大学
- 3 市川 英昭 神奈川 富士建設

少年男子ケリフ

- 1 南 潤 和歌山 和歌山北高
- 2 鈴木 玄人 東京 昭和第一学園高
- 3 松尾 颯汰 長崎 鹿町工業高

成年男子ポイントレース (30km)

- 1 窪木 一茂 和歌山 和歌山県教育庁 60p
- 2 山下 貴宏 兵庫 シェル 34p
- 3 大場政登志 茨城 C PROJECT 22p

少年男子ポイントレース (24km)

- 1 草場 啓吾 京都 北桑田高 51p
- 2 曾我部厚誠 大阪 城東工科高 47p
- 3 渡部 将太 岡山 岡山工業高 16p

男子チームスプリント

- 1 和歌山 橋本・布居・南 1:17.675
- 2 長崎 佐々木・松田・市山 1:18.536
- 3 福岡 今村・梶原・吉岡 1:19.869

男子 4km チームパシビュー

- 1 大分 一丸・阿部・高橋優・高橋 4:24.795
- 2 京都 草場・村田・孫崎・安田 4:25.753
- 3 岐阜 栗山・浦田・赤堀・森 4:32.173

女子 500m タイムトライアル

- 1 吉川 美穂 和歌山 CB あさひ 37.902
- 2 鈴木 奈央 静岡 星陵高 38.246
- 3 大久保花梨 福岡 祐誠高 38.334

女子ポイントレース (16km)

- 1 鈴木 奈央 静岡 星陵高 22p
- 2 古山 稀絵 東京 昭和第一学園高 17p
- 3 吉川 美穂 和歌山 サイクルハウスあさひ 13p

女子チームスプリント

- 1 静岡 沼部・鈴木 1:01.450
- 2 愛知 高橋・三浦 1:02.135
- 3 鹿児島 内村真・内村 1:02.649

男子総合

- 1 和歌山 61p
- 2 大分 40p
- 3 長崎 35p

女子総合

- 1 静岡 31p
- 2 鹿児島 28p
- 3 愛知 24p

**第31回 沼ノ鈴鹿国際ロードレース大会
(2014/8/24 三重・鈴鹿)**

国際ロード (58.07km)

- 1 Jakub Novak BMC 1:14:44.06
- 2 Arnaud Grand BMC 1:14:49.52
- 3 畑中 勇介 東京 シノ 1:14:49.52
- 4 福田 真平 愛知 愛三工業 1:14:49.94
- 5 大久保 陣 栃木 ブリッツェン 1:14:49.96
- 6 イトワート・ブラト マトリックス 1:14:49.96

リオデジャネイロ・オリンピック参加資格取得について

【ロードレース】総数 211 名 (2016 年中に達する年齢：19 歳以上)

＜マストスタート＞総数 211 名

■ 男子 (1 カ国あたり最多 5 名、但し UCI ランキング以外で参加資格を得た場合は最多 1 名)

① 2015 ワールドツアー-国別ランキング	1~5 位×各 5 名、6~15 位×各 4 名	計 65 名	
② 2015 アフリカツアー-国別ランキング	1 位× 3 名、2~4 位×各 2 名	計 9 名	
③ 2015 アメリカツアー-国別ランキング	1~3 位×各 3 名、4~5 位×各 2 名	計 13 名	
④ 2015 アジアツアー-国別ランキング	1 位× 3 名、2~4 位×各 2 名	計 9 名	
⑤ 2015 ヨーロッパツアー-国別ランキング	1~6 位×各 3 名、7~16 位×各 2 名	計 38 名	
⑥ 2015 オセアニアツアー-国別ランキング	1 位× 2 名	計 2 名	
⑦ 2015 アフリカ・アメリカ・アジア選手権	1~2 位×各 1 名	計 6 名	
⑧ 開催国枠	2 名	計 2 名	合計 144 名

※ ランキング期間：2015/1/1 ~ 2015/12/31

2015 最終ワールド個人ランキングに競技者がいる場合 1 枠付与

2015 最終アジア個人ツアーランキング 10 位までに競技者がいる場合 1 枠付与

ただし、総合計数を尊重するためにワールド国別ランキングの逆順に削減される

□ 女子 (1 カ国あたり最多 4 名、但し UCI ランキング以外で参加資格を得た場合は最多 1 名)

① 2016/5/31 UCI 国別ランキング	1~5 位×各 4 名、6~13 位×各 3 名、14~22 位×各 2 名	計 62 名	
② 2016/5/31 以前の直近のアフリカ・アメリカ・アジア選手権	1 位×各 1 名	計 3 名	
③ 開催国枠	2 名	計 2 名	合計 67 名

※ 2016/5/31 UCI 個人ランキング 100 位までに競技者がいる場合 1 枠付与

ただし、総合計数を尊重するためにワールド国別ランキングの逆順に削減される

＜タイムトライアル＞総数 65 名 (マストスタート出場者に限る)

■ 男子 (1 カ国あたり最多 2 名)

① 2015 ワールドツアー-国別ランキング	1~15 位×各 1 名	計 15 名	
② 2015 アフリカツアー-国別ランキング	1~2 位×各 1 名	計 2 名	
③ 2015 アメリカツアー-国別ランキング	1~4 位×各 1 名	計 4 名	
④ 2015 アジアツアー-国別ランキング	1~2 位×各 1 名	計 2 名	
⑤ 2015 ヨーロッパツアー-国別ランキング	1~6 位×各 1 名	計 6 名	
⑥ 2015 オセアニアツアー-国別ランキング	1 位×各 1 名	計 1 名	
⑦ 2015 世界選手権エリート個人 TT	1~10 位×各 1 名	計 10 名	合計 40 名

□ 女子 (1 カ国あたり最多 2 名)

① 2016/5/31 UCI 国別ランキング	1~15 位×各 1 名	計 15 名	
② 2015 世界選手権エリート個人 TT	1~10 位×各 1 名	計 10 名	合計 25 名

【トラックレース】総数 189 名 (2016 年中に達する年齢：18 歳以上) (2014~16 オリンピック・トラック・ランキング者)

2014/7/15 ~ 2016/2/28 オリンピック・トラックランキングによる。対象大会は下記の①~③。

① アジア選手権 (直近 2 回) ② 2014 ~ 2015, 2015 ~ 2016 トラックワールドカップ ③ 2015・2016 世界選手権エリート

	チームスプリント	スプリント	ケイリン	団体追抜	オムニアム	総数	1 国あたり
■ 男子総数	9(27)	9	9	9(36)	18	99	8
ヨーロッパ最多数	5	5	5	6	8		
アメリカ最多数	2	2	3	2	6		
アジア最多数	2	2	2	2	5		
オセアニア最多数	2	1	1	2	2		
アフリカ最多数	1	1	1	1	1		
□ 女子総数	9(18)	9	9	9(36)	18	90	7
ヨーロッパ最多数	5	5	5	6	8		
アメリカ最多数	2	2	2	2	5		
アジア最多数	2	2	2	2	5		
オセアニア最多数	2	1	1	2	2		
アフリカ最多数	1	1	1	1	1		

※ スプリントとケイリンは 1 カ国あたり最多 2 名で総数 27 名、その他の種目は 1 カ国あたり最多 1 名 (チーム)

※ チームスプリント出場国は個人種目 (スプリント・ケイリン) の参加資格を得る

[マウンテンバイク] 総数 80 名 (2016 年中に達する年齢: 19 歳以上)

<クロスカントリー> 総数 80 名

■ 男子 (1 カ国あたり最多 3 名)

- | | | | |
|--------------------------------|--|--------|---------------|
| ① オリンピック・国別ランキング ^{*1} | 1~5 位×各 3 名、6~13 位×各 2 名、14~23 位×各 1 名 | 計 41 名 | |
| ② 2015 アフリカ・アメリカ・アジア・オセアニア選手権 | 1~2 位×各 1 名 | 計 8 名 | |
| ③ 開催国枠 | | 1 名 | 計 1 名 合計 50 名 |

□ 女子 (1 カ国あたり最多 2 名)

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------|--------|---------------|
| ① オリンピック・国別ランキング ^{*1} | 1~8 位×各 2 名、9~17 位×各 1 名 | 計 25 名 | |
| ② 2015 アフリカ・アメリカ・アジア・オセアニア選手権 | 1 位×1 名 | 計 4 名 | |
| ③ 開催国枠 | | 1 名 | 計 1 名 合計 30 名 |

※ 1: 2015 年 5 月 25 日付と 2016 年 5 月 25 日付の国別ランキングの結合。(個人ランキング上位 3 名の総和)

[BMX] 総数 48 名 (2016 年中に達する年齢: 18 歳以上)

■ 男子 (1 カ国あたり最多 3 名)

- | | | | |
|---|--------------------------------------|--------|---------------|
| ① 2016/5/31 オリンピック国別ランキング ^{*2} | 1~4 位×各 3 名、5~7 位×各 2 名、8~13 位×各 1 名 | 計 24 名 | |
| ② 2016/5/31 BMX エリート個人ランキング | 1~4 位×各 1 名 | 計 4 名 | |
| ③ 2016 BMX 世界選手権 | 1~3 位×各 1 名 | 計 3 名 | |
| ④ 開催国枠 | | 各 1 名 | 計 1 名 合計 32 名 |

□ 女子 (1 カ国あたり最多 2 名)

- | | | | |
|---|-------------------------|--------|---------------|
| ① 2016/5/31 オリンピック国別ランキング ^{*3} | 1~3 位×各 2 名、4~7 位×各 1 名 | 計 10 名 | |
| ② 2016/5/31 BMX エリート個人ランキング | 1~3 位×各 1 名 | 計 3 名 | |
| ③ 2016 BMX 世界選手権 | 1~2 位×各 1 名 | 計 2 名 | |
| ④ 開催国枠 | | 各 1 名 | 計 1 名 合計 16 名 |

※ 2: 2014 年 5 月 31 日~2016 年 5 月 30 日の男子 (エリート/ジュニア) 個人ランキング上位 3 名の総和

※ 3: 2014 年 5 月 31 日~2016 年 5 月 30 日の女子 (エリート/ジュニア) 個人ランキング上位 2 名の総和

パラサイクリング・ロード世界選手権 金メダル受賞報告

9 月 28 日アメリカ・サウスカロライナ州・グリーンビルで開催された「2014 年パラサイクリング・ロード世界選手権大会」の女子視覚障害タンデムクラス (WB)・ロードタイムトライアルで見事優勝した、鹿沼由理恵選手 (メットライフ生命) と、田中まい選手 (日本競輪選手会) が 9 月 9 日日本自転車競技連盟事務局を訪問し、金メダル受賞の報告を行った。(写真は左から、大島 JCF 副会長・鹿沼選手・田中選手・権丈パラサイクリング連盟理事長)

**JCF マウンテンバイク日本代表 新ジャージ発表会**

7 月 24 日、東京・青山にあるブリヂストンサイクルのバイクフォーラム青山において、JCF マウンテンバイク日本代表新ジャージの発表会が催された。

中田明ウエイブワン代表取締役から「2020 東京五輪までのスポンサー契約の報告」、鈴木雷太 JCF ナショナルコーチから「リオ五輪への展望」のほか、JCF 強化指定の沢田時 (XC)、中川弘佳 (DH)、中村美佳 (DH) 各選手達も参加し、ジャージの印象・今後の展望などが語られた。

2014 年中の UCI 規則改訂について

2014 年 4 月以降、UCI 規則において改訂がありました。

国内においても、国際競技大会においてはすでにこれらの規則を適用しておりますが、これらの改訂を反映した JCF 規則の改訂版は未発表の段階です。しかしながら、世界を目指す競技者諸君にとって国際的な規則により早く親しむことは重要ですので、国内競技においても UCI 規則に準拠した運用を推進してください。

この際には、かならず大会特別規則において適用規則を明示し、大会コミュニケ等においても注意喚起するようにしてください。

特にトラック・レースにおいては大きく改訂されていますので、以下に要点を示します：

【スプリント】

トーナメントの方式が、ワールドカップと世界選手権大会において統一されました。

【チーム・パーシュートおよびチーム・スプリント】

スタート時は、横一線に並ばなければなりません。斜め 45° の並び方はなくなりました。

側方間隔は、チーム・パーシュートは 1m、チーム・スプリントは 1.5m です。

【オムニアム】

2 日間で 6 競技を行なうことは変わりありませんが、順序が変更されました：

	新	旧
1	スクラッチ・レース	フライング・ラップ
2	インディヴィデュアル・パーシュート	ポイント・レース
3	エリミネーション	エリミネーション
4	タイム・トライアル	インディヴィデュアル・パーシュート
5	フライング・ラップ	スクラッチ・レース
6	ポイント・レース	タイム・トライアル

最終競技のポイント・レースの距離が長くなりました。

最初の 5 競技は個々にリザルトを作成し、1 位 = 40 点、2 位 = 38 点、3 位 = 36 点、以下同様に点を与えます。

最後のポイント・レースは、それまでの合計得点を持って開始します。ラップの獲得、遅れ、中間スプリントにより加点、減点され、最多得点者がオムニアムの優勝者となります。

棄権競技者は、最終順位において最下位得点競技者の下位に、「DNF」として記録されます。

エリミネーション以外で除外された競技者は総合点において 40 点減点されます。

スクラッチ・レースにおいて完走できなかった競技者は 1 点を与えられます。

最終順位において同点の場合、ポイント・レースの最終スプリントの順位で決定します。

詳しくは、JCF ホームページ <http://jcf.or.jp/?p=38991> をご覧ください。

連盟の動き (8 月上旬～9 月中旬)

- | | | |
|---------|-------------------------------|--------------------------------|
| 8 月 1 日 | 2014 ジュニアトラック世界選手権大会直前合宿 | 於：静岡・伊豆ペロドローム / 日本競輪学校 (～ 8/4) |
| 1 日 | 第 3 回トラック中距離強化合宿 | 於：静岡・伊豆ペロドローム (～ 8/5) |
| 5 日 | 2014 ジュニア・トラック世界選手権代表選手団出発 | 於：大韓民国・ソウル 帰国→ 8/13 |
| 10 日 | ガールズサマーキャンプ 2014 | 於：静岡・日本競輪学校・日本 CSC (～ 8/15) |
| 13 日 | 第 2 回ユースオリンピック競技大会 (2014/ 南京) | 於：中国・南京 帰国→ 8/29 |
| 18 日 | 2014 トラックドイツ遠征日本代表選手団出発 | 於：ドイツ・コトブス 帰国→ 8/26 |
| 30 日 | 2014 トラック世界選手権大会日本代表選手団 | 於：ノルウェイ・リレハンメル 帰国→ 9/9 |
| 31 日 | 2014 マウンテンバイク世界選手権日本代表選手団 | 於：ノルウェイ・ハーフェル 帰国→ 9/10 |
| 20 日 | 平成 26 年度第 3 回ロード競技部会 | 於：東京・自転車総合ビル 6 階会議室 |
| 9 月 1 日 | 第 4 回トラック中距離強化合宿 | 於：静岡・伊豆ペロドローム / 日本競輪学校 (～ 9/6) |
| 3 日 | 平成 26 年度第 2 回広報委員会 | 於：東京・自転車総合ビル 6 階会議室 |
| 3 日 | 平成 26 年度第 3 回競技運営委員会 | 於：東京・自転車総合ビル 5 階事務局 |
| 4 日 | 平成 26 年度第 2 回総務委員会 | 於：東京・自転車総合ビル 6 階会議室 |
| 8 日 | 平成 26 年度第 2 回常務理事会 | 於：東京・自転車総合ビル 6 階会議室 |
| 10 日 | 平成 26 年度第 3 回広報部会 | 於：東京・自転車総合ビル 7 階会議室 |

**第2回ユースオリンピック競技大会
日本代表選手団**

大会名 第2回ユースオリンピック競技大会 (2014/ 南京)
開催場所 中華人民共和国・南京
大会期間 8月16日～28日
派遣期間 8月13日～29日
代表選手団
監督 西井 匠
(JCF マウンテンバイク小委員会)
選手 石上 優大 (神奈川・横浜高校)
山田 将輝 (長野・岡谷工業高校)
坂口 聖香 (兵庫・日本体育大学)
中島 峻歩 (山梨・北杜高校)

**2014トラックドイツ遠征
日本代表選手団**

大会名 コトブスナイト (クラス1)
開催場所 ドイツ連邦共和国・コトブス
大会期間 2014年8月22日～24日
派遣期間 2014年8月18日～26日
代表選手団
監督 坂本 勉 (JCF 強化コーチ)
メカニック 森 昭雄 (JCF 強化支援スタッフ)
マッサー 中山 真臣 (JCF 強化支援スタッフ)
スタッフ 村田 正洋 (情報・科学スタッフ)
選手 渡邊 一成 (JPCA・JPCU 福島)
河端 朋之 (JPCA・JPCU 岡山)
石井 貴子 (JPCA・JPCU 千葉)
前田佳代乃 (京都)

UCI 会長が本連盟を訪問

UCI (国際自転車競技連合) 会長のブライアン・クックソン氏が8月13日、本連盟事務局を訪問され、大島副会長、佐久間副会長と会談した。

UCI 会長は8月8日から12日まで韓国・光明市で行われたジュニア・トラック世界選手権大会の後、日本を訪問し、その後8月16日から中国・南京で開催されたユース・オリンピック・ゲームズに向かわれた。



**UCI サイクルサッカーワールドカップ第4戦
2014 アジア室内自転車競技選手権大会
日本代表選手団**

大会名 UCI サイクルサッカーワールドカップ第4戦
2014 アジア室内自転車競技選手権大会
開催場所 大分・別府
大会期間 2014年8月23日～24日
派遣期間 2014年8月22日～25日
代表選手団
■8月23日
UCI サイクルサッカーワールドカップ第4戦
村上 裕亮 (大阪・RSV 大阪1)
岡嶋 紘次 (鳥取・RSV 大阪1)
藤田 洋介 (東京・蔵前)
時倉 宗大 (神奈川・蔵前)
木下 直也 (神奈川・VfH 東京1)
松田 綱 (千葉・VfH 東京1)
合田 昌司 (大阪・RSV 大阪2)
谷川 拓真 (東京・RSV 大阪2)
安井 英己 (東京・舞馬)
大野 和俊 (神奈川・舞馬)

■8月24日
第12回アジア室内自転車競技選手権大会
村上 裕亮 (大阪・RSV 大阪1)
岡嶋 紘次 (鳥取・RSV 大阪1)
藤田 洋介 (東京・蔵前)
時倉 宗大 (神奈川・蔵前)
芦田 史朗
(滋賀・滋賀 C.F.C ブルーレイクエンジェル)
佐藤 凧沙 (京都・京都産業大学)
近藤 菜月
(滋賀・滋賀 C.F.C ブルーレイクエンジェル)
上嶋 美音
(滋賀・滋賀 C.F.C ブルーレイクエンジェル)

**2014UCI パラサイクリング
ロード世界選手権大会 日本代表選手団**

大会名 2014UCI パラサイクリング・ロード世界選手権大会
開催場所 アメリカ・グリーンビル
大会期間 2014年8月28日～9月1日
派遣期間 2014年8月24日～9月3日
代表選手団
選手 藤田 征樹 (茨城・日立建機) C3
鹿沼由理恵
(東京・メットライフ生命保険) FB
田中 まい (千葉・日本自転車連合)パイロット
藤井 美穂 (東京・鉄道弘済会)C2
コーチ 柿木 克之 (JPCF 強化スタッフ)
メカニック 鬼原 積 (JCF・JPCF 強化スタッフ)
マッサー 菊地 孝明 (JCF・JPCF 強化スタッフ)
義肢装具士 斎藤 拓 (JPCF 強化スタッフ)
マネージャー 平松 竜司
(JCF パラサイクリング部会員・JPCF 強化スタッフ)

**2014MTB 世界選手権大会
日本代表選手団**

大会名 2014MTB 世界選手権大会
開催場所 ノルウェイ・ハーフェル
派遣期間 2014年8月31日～9月9日
代表選手団
監督 佐藤 裕幸
(JCF マウンテンバイク小委員会委員長)
メカニック 山路 篤 (JCF 強化支援スタッフ)
松永 剛 (JCF 強化支援スタッフ)
総務 高橋 博
(JCF マウンテンバイク小委員会委員)
内堀 尚美 (総務補佐・インターン)
選手 ダウンヒル
男子エリート 清水 一輝
(愛知・MADISON SARACEN FACTORY TEA)
男子ジュニア 加藤 将来
(愛知・LOVEBIKESRACING/ACCEL)
●MTB (クロスカンントリー)
男子エリート 門田 基志 (愛媛・TEAM GIANT)
武井 亨介 (茨城・チーム・フォルツァ!)
斉藤 亮 (長野・プリヂストンサイクル)
山本 幸平
(北海道・SPECIALIZED BICYCLE COMPONENTES)
平野 星矢 (長野・プリヂストンサイクル)
男子U23 中原 義貴 (大阪・Cannondale)
沢田 時 (滋賀・プリヂストンサイクル)
前田 公平 (東京)
山田 誉史輝 (長野・LITEC FACTORY RACING)
男子ジュニア 山田 将輝
(長野・Limited846/DIRTFREAK)
平林 安里 (長野・長野県白馬高等学校)
女子エリート 未政 実緒 (兵庫・Unior Tools LITEC)
與那嶺 恵理 (茨城・サクソバンクFX証券)
女子U23 相野田 静香
(長野・LITEC FACTORY RACING)

**2014 トライアル世界選手権大会
日本代表選手団**

大会名 2014 トライアル世界選手権大会
開催場所 ノルウェイ・リレハンメル
派遣期間 2014年8月30日～9月9日
代表選手団
監督 岩佐 賢一 (兵庫)
選手 男女エリート
寺井 一希 (埼玉・チームハリケーン)
甘利 大斗
(長野・バイクトライアルチーム 輪道)
小松 龍一 (神奈川・HWC)
水野 真美 (大阪・関西大学)
ジュニア
坪井 大地 (宮城・GOLDRUSH)



日本新記録

Japan New Record

■ スタンディングスタート

・ 1km

男子ジュニア 1'04"823 野上 竜太 (岡山・鹿屋体育大学)

2014/08/17 静岡・伊豆ベロドローム

男子ジュニア 1'03"799 野上 竜太 (岡山・鹿屋体育大学)

2014/08/29 静岡・伊豆ベロドローム

・ 2km

女子ジュニア 2'30"969 鈴木 奈央 (静岡・星陵高校)

2014/08/16 静岡・伊豆ベロドローム

今後の大会予定

期日	大会名	種目	場所
9月20日～21日	経済産業大臣旗全日本実業団ロードチャンピオンシップス	RR	広島/森林公園
9月20日～21日	日本スポーツマスターズ2014埼玉大会・自転車競技	TR	埼玉/大宮双輪場
9月20日～21日	JCFジャパンシリーズ J1 XCO 白馬大会	MTB	長野/白馬・スノーハーブ
9月20日～21日	第48回 JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ	RR	広島/森林公園
9月20日～21日	第3回 JBCF ジュニアユースロードチャンピオンシップ	RR	広島/森林公園
9月20日～21日	第3回 JBCF 女子チャンピオンシップ	RR	広島/森林公園
9月20日～28日	UCI世界選手権大会-ロードレース	RR	スペイン
9月20日～ ^{10/1}	アジア競技大会	RR/TR/MTB/BMX	大韓民国/インチョン
9月21日	2014JBMXFシリーズ第5戦 (西日本第3戦)	BMX	広島/安芸高田・土師ダム
9月26日～27日	JCFジャパンシリーズ J1 DHI ウィングヒルズ白鳥リゾート	MTB	岐阜/ウィングヒルズ白鳥リゾート
10月5日	第50回全日本学生自転車競技トラック新人戦・西日本大会	TR	滋賀/旧大津びわこ競輪場
10月5日	第50回全日本学生自転車競技トラック新人戦・東日本大会	TR	山梨/笛吹・境川自転車競技場
10月11日～13日	JCFジャパンシリーズ J1 DHI/XCO 富士見パノラマ大会	MTB	長野/富士見パノラマリゾート
10月12日	ジャパンシリーズ トライアル #3 広島大会	TRIAL	広島/三次・灰塚ダムトライアル場
10月13日～17日	第69回国民体育大会自転車競技会	RR/TR	長崎/壱岐・佐世保
10月18日～19日	ジャパン・カップ・サイクルロードレース	RR	栃木/宇都宮
10月24日～26日	JCFジャパンシリーズ in 石川/白山一里野温泉 DHI/XCO	MTB	石川/白山一里野温泉スキー場
10月25日	ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム	RR	埼玉/さいたま
10月26日	第10回全国ジュニア自転車競技大会	RR	三重/四日市

無限の夢へ、走りだそう。



RING!RING! プロジェクト

競輪の補助事業

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで **RING!RING!**

00

2014年UCI サイクルサッカーワールドカップ第4戦 第12回アジア室内自転車競技選手権大会



2014年UCI サイクルサッカー ワールドカップ第4戦(アジアラウンド)

この大会は年8回有る予選ラウンドの1つ(ファイナルは12月にドイツ)で、全年度の世界選手権大会の成績順位により国ごとに各予選大会への参戦チーム数が割り当てられ、本大会はオーストリア1、フランス1、マレーシア2、香港1、日本5の計10チームが参戦した。初めに2組に分かれてリーグ戦を行い、各組の1、2位は準決勝・決勝、以下の同位チームで5-6位、7-8位、9-10位の決定戦。決勝戦はパワー・スピードに勝る欧州同士の対戦となり、RV Dornbirn (Martin Lingg/Stefan Feurstein =オーストリア) が優勝。日本勢は他のアジア勢を圧倒し、VfH Tokyo (木下直也 / 松田綱 =日本) の第3位を筆頭に7位までを占めた。



VfH Tokyo 1 対 蔵前



近藤 菜月



上嶋 美音

第12回アジア 室内自転車競技選手権大会

香港、マレーシア、日本が参加。サイクルサッカーはRSV Osaka1 (村上裕亮 / 岡嶋紘司) が、2回総当たりのリーグ戦を全試合圧勝で優勝。

サイクルフィギュアは男子シングル芦田史朗 (滋賀 C.F.C. ブルーレイクエンジェル) が安定した演技を見せ、国際大会での自己ベスト更新で第3位。

女子シングル佐藤風沙 (京都産業大学) は、ミスが出たが第3位をキープ。女子シングルU15に出場した近藤菜月・上嶋美音 (共に滋賀 C.F.C. ブルーレイクエンジェル) は、国際大会初経験ながら強豪香港勢の一角を崩し、堂々2位と3位に入る健闘を見せた。「今後は更なる完成度の高い演技をする必要がある」と、2人を指導する堀井和美コーチは語っていた。

【競技結果】 (日本人参加種目のみ)

2014年UCI サイクルサッカーワールドカップ第4戦 (2014/8/23 大分・別府)

サイクルサッカー

- 1 RV Dornbirn AUT
- 2 VC Dorlisheim FRA
- 3 VfH Tokyo 1 木下直也 / 松田綱



第12回アジア室内自転車競技選手権大会 (2014/8/24 大分・別府)

サイクルフィギュア シングルエリート男子

- 1 Wong Chin To HKG 163.20
- 2 Mak Rainfield HKG 130.06
- 3 芦田 史朗 JPN 103.64



サイクルフィギュア シングルエリート女子

- 1 Luk Wing Yi HKG 95.86
- 2 Wong Hiu Shuen HKG 91.74
- 3 佐藤 風沙 JPN 49.99



サイクルフィギュア シングルU15女子

- 1 So Cheuk Lam HKG 90.36
- 2 近藤 菜月 JPN 78.54
- 3 上嶋 美音 JPN 68.18



サイクルサッカー

- 1 日本 村上裕亮 / 岡嶋紘司
- 2 ホンコンチャイ
- 3 マレーシア



ツール・ド・いくちじま 2014 第3回レモンアイランドレース

エリート・ロードはマトリックスのプラデス兄弟が制覇!



クリテリウムエリートのトップ集団、先頭は優勝した KERS



ロードエリートのフィニッシュ



クリテリウム U23 のフィニッシュ

今年で3回目を迎えるツール・ド・いくちじまが9月6日~7日、広島県の生口島で開催された。

晴天の中、初日は一般参加のウォームアップライドからスタート、尾道市長も自ら先頭を走行。その後のクリテリウムでは、KERS (NED) が昨年に続き2連覇を果たした。

また、2日目のロードレースではマトリックス vs シマノの対決となり、マトリックスのプラデス兄弟が1-2フィニッシュを飾った。

【競技結果】

ツール・ド・いくちじま 2014
第3回レモンアイランドレース
(2014/9/6-7 広島・生口島)

クリテリウム<エリート>

- 1 KERS Koos Jeroen Lemon Island 47:41
- 2 入部正太郎 奈良 SHIMANO 47:41
- 3 PRADES Benjamin MATRIX 47:41



- 4 PRADES Eduard MATRIX 48:03
- 5 野中 竜馬 広島 SHIMANO 48:03
- 6 宮内 渉 愛媛 愛媛車連選抜 48:08

クリテリウム<U23>

- 1 石橋健三郎 広島 立命館大学 40:26
- 2 林 大智 福岡 Fukuoka Oceans 40:26
- 3 永田 雄大 京都 大阪府立大学 40:26



- 4 森田 和也 京都 京都大学 40:26
- 5 小野 尊之 香川 龍谷大学 40:26
- 6 松尾 哲哉 大阪 大阪経済大学 40:26

ロードレース<エリート>

- 1 PRADES Benjami MATRIX 3:03:12
- 2 PRADES REVERTER Eduard MATRIX 3:03:12
- 3 入部正太郎 奈良 SHIMANO 3:03:41



- 4 KERS Koos Jeroen Lemon Island 3:03:41
- 5 畑中 勇介 東京 SHIMANO 3:04:25
- 6 相本 祥政 山口 山口車連選抜 3:04:34

ロードレース<U23>

- 1 石橋健三郎 広島 立命館大学 54:12
- 2 松清 秀雄 京都 京都大学 54:12
- 3 林 大智 福岡 Fukuoka Oceans 54:12



- 4 永田 雄大 京都 大阪府立大学 54:12
- 5 石丸 兼司 兵庫 大阪経済大学 54:12
- 6 小西 瑛久 愛媛 関西大学 54:12



尾道市長を先頭にウォームアップライド



ロードのトップ集団、第3回にして初めての好天で島々が見える



ロード最終週の登りでアタックをかける
PRADES REVERTER Eduard

クリテリウムの先頭集団



ロードスタート直後、多々羅大橋を背に



アジア選サイクルサッカーの日本対ホンコンチャイナ



アジア選サイクルフィギュアの芦田

**UCI サイクルサッカーワールドカップ第4戦
第12回アジア室内自転車競技選手権大会**



アジア選サイクルフィギュアの佐藤



サイクルサッカーワールドカップ、決勝のRV Dornbirn 対 VC Dorlisheim

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.208 2014年8・9月号

発行/公益財団法人日本自転車競技連盟

発行人/橋本聖子

編集人/坂井田米治

編集事務局/公益財団法人日本自転車競技連盟 事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5F

TEL 03-6277-2690 FAX 03-6277-2691 <http://www.jcf.or.jp/>

